

商業科教育法Ⅱ		担当教員：別 所 正 一	2 単位																		
設 題																					
○第1問 学習プリントの演習問題Ⅱから、各問の解答を記入しなさい。																					
(1) 演習問題Ⅱ－1の科目「財務会計Ⅱ」の「第2内容とその取扱い」から、『①内容を取り扱う際の配慮事項イについて、「大切である。」と示されている点』について、まとめた内容を書きなさい。(200字程度)																					
(2) 演習問題Ⅱ－5の『(3) 6-5-4「ソフトウェア活用」の授業改善』から、「②評価の観点(三つの観点)」を参考にし、指導項目「(2) 表計算ソフトウェアの活用」に該当する評価規準の具体例を簡潔に書きなさい。(解答用紙に、次の表を自作し5行以内に記入をまとめること)																					
<table border="1"> <thead> <tr> <th>知識・技術</th> <th>思考・判断・表現</th> <th>主体的に学習に取り組む態度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td></tr> </tbody> </table>				知識・技術	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度															
知識・技術	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度																			
(3) 演習問題Ⅱ－9の「(1) 第1節指導計画の作成に当たっての配慮事項」の「① 1主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善」の「イ) 授業改善の取組を推進するための観点」から、「5 障害のある生徒などへの指導」について、商業科における配慮としてまとめた内容を記入してください。(200字程度)																					
(4) 演習問題Ⅱ－10の「(2) 第4節総則に関する事項」から、「学校設定科目(総則第2款3(1)エ)」の「配慮する必要がある点と商業科において」の解説について、まとめた内容を記入してください。(200字程度)																					
(5) 演習問題Ⅱ－13の「(1) 7-1指導計画の意義と作成」の「④7-1-4学習指導案の作成」から、「目標と内容の設定」(2)指導目標の設定と(3)指導内容の設定について、まとめた内容を記入してください。(200字程度)																					
○第2問 次の文を読んで、設問の指示に従って1単位時間の学習指導案を作成しなさい。																					
<p>高等学校学習指導要領(平成30年告示)解説商業(平成30年7月)の科目「簿記」では、「2 内容」(4)本支店会計 イ 財務諸表の合併について、「ここでは、支店会計が独立している場合の本店と支店における決算手続の流れ及び内部利益を含まない合併財務諸表の作成方法について扱う。」こととされています。このことを踏まえて、本単元の学習指導案(別添様式1)を作成しなさい。</p> <p>なお、本単元における配当授業時数は最大8時間(1単位時間は50分)で「イ 財務諸表の合併」の配当授業数は3時間とする。学習指導案の作成に当たっては、<u>配当時数3時間うち1時間(50分)</u>を作成しなさい。(学習指導案は、別添様式1を使用すること)</p> <p>学習指導案には、学習単元のねらい、指導内容、留意点等(教師の指導)、評価規準、評価方法について具体的に記載すること。</p>																					
作成方法は、ワープロ「Word」で作成(手書きまたは写真・PDFでの提出は認めない。)																					
ワープロ	<ul style="list-style-type: none"> ・コピー用紙等(無地) ・解答用紙の書式設定【余白(上下左右20mm)、文字と行数(50文字・50行)、フォント設定(MS明朝・10ポイント)】 																				
筆記	<ul style="list-style-type: none"> ・用紙：本学通信教育部の標準フォーマット・コピー用紙等(無地) 																				
文字数等	<ul style="list-style-type: none"> ・問題ごとに指示する。(横書き)指定された字数を越えないように簡潔にまとめること。 ・第2問の学習指導案の作成は、必要に応じて線で区別したり、1ページに収まるよう文字サイズを調整するなどの工夫をしてよい。また、1ページ以内に収まらない場合は、なるべく2ページ以内に収まるように努力すること。併せて、特に必要があると判断する場合には、教材として使用するプリントや問題等を提出する学習指導案に添付してもよい。設問毎の指定字数から、文末に【〇〇〇字】と解答字数を記入すること。 																				
注意事項	<ul style="list-style-type: none"> ・各問題の指定字数にある「字程度」とは、指定字数以上から超えても50字以内にまとめること。 ・解答用紙では、第1問(1)と表記して解答を記入すること。末尾に解答字数を表記すること。例：(250字) 																				

別添様式1

第2問 商業科教育法Ⅱ

科目「簿記」 学習指導案

学籍番号 () 氏名 ()

科目名	簿記
単元名	本支店会計 : 財務諸表の合併
単元の目標	

単元の 評価規準	知識・技術	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度

段階	学習活動		教師の活動	<input type="checkbox"/> 留意点 <input checked="" type="checkbox"/> 評価の観点	時間
	学習内容	生徒の活動			
導入					分
展開					分
まとめ					分